

第33回 奥日光刈込湖・切込湖

第4支部 丁子屋塗料(株)

秦 明彦

平成19年8月19日 晴れ

今回は、戦場ヶ原より奥の光徳温泉から切込、刈込湖経由、湯元温泉までの比較的楽なコースでした。

私は、この会でハイキングに参加するまでは、日光は観光で訪れるだけだったので、大変楽しみにしていました。

さて、いつもの日光ハイキング同様、浅草6時20分発の快速電車に乗りました。参加者は、幹事の乾さん、磯部さん、そして森さん、小野寺さん、若林さん、私の6人、楽な日光にしては、参加者が少なかったです。

東武日光駅からは、乾さん手配の乗り合いタクシーで光徳温泉まで乗りましたが、乾さんとかなり親しいこともありましたが、運転手がよくしゃべること、大変面白かったです。光徳温泉では、森さん、小野寺さんが、牧場の牛乳を飲んでいましたので、私も習い、力をつけて、出発です。

初めは、好ましい森林の中の緩やかな斜面でしたが、徐々に急になり、いやな木段の登りが続きました。

森さん、かなり苦しそう、荒い息使いが聞こえてきました。やがてこのコースのピークである山王峠へ到着、ここで小休止し、そこから下りとなり、間もなく、林道の舗装路に出ましたが、再び山道に戻り、さらに下ると、涸沼という干上がった沼地に飛び出しました。ここからの広々とした眺めは、なかなか好ましいものでした。山王帽子山もよく見えました。

その先は、ほぼ平らな道で、少し行くと、まず切込湖が見えてきました。さらに行くと刈込湖も見えるようになり、ちょうど中間点で、湖畔に降りると、2つの湖がつながっているのがわかりました。

さらに進んで降りた刈込湖畔は、砂地が広がっていて、休憩にはもってこいの所でした。

さて、ここから、時々木段のある登りを繰り返し、やがて小峠へ到着、あとは、ほぼ下りで、金精道路を横断して、なお下ると、硫黄臭のする湯元の源泉に出、わずかで、湯元温泉に到着しました。

さっそく、旅館の温泉に入りました。白いとても良い湯で、大変満足しました。

帰りは、特急に乗り、例によって車中で宴会、浅草に着いてからは、そば屋と神谷バーをはしごして、解散となりました。なお宴会は、かなり盛り上がっていましたが、話の内容などほとんど覚えていないので、省略させて下さい。

何はともあれ、美しい日光の自然と温泉、車中及び浅草での楽しい宴会と、このプランは、大変すばらしいと思いました。